

事務事業名	災害復旧事業		所属部局	建設部		単位番号	7037										
	☐ 実施計画事業		所属課室	道路整備課		課長名	入倉隆士										
			所属担当	維持担当		担当者名	時田一直										
基本政策	基本計画	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	計画	12	治水対策の河川等の整備	事業区分	01	一般	1	1	0	2	0	1	0	2	0	0	1
施策	体系	19	河川・水路の整備		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
			☐ 市の制度による義務的事業		☒ その他の事業												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)		法令根拠														
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)													
	台風、大雨、地震等により災害が起きた場合、現地調査、概略設計を行い、災害申請し補助金等を受けて災害現場の作業を行う事業。事業費については、災害査定の結果、補助金等の額が決定する。事業費の通常2/3が補助金額となる。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)													
				土木施設災害復旧 1													
				計 1													

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	災害無
23年度活動予定	災害がないことを祈ります
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
災害箇所数	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
災害現場	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安全な環境づくり	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 災害箇所数	箇所
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 災害復旧現場	箇所
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 災害復旧が完成した箇所	箇所
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 災害件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	1	1	1	1	1	1	
	事業費計 (A)		千円	1	1	1	1	1	1	0	
	人件費	正規職員従事人数	人								
		延べ業務時間	時間								
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	1	1	1	1	1	1	0	
活動指標		アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
対象指標		アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
成果指標		アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		アイウ	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
上位成果指標		アイ	件	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		アイ	件	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	災害時
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	いつ起こるか分からない災害
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	災害が起こらないような維持管理

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	緊急性の高い順から修繕等を行う
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	緊急性の高い順から修繕等を行う

事務事業名	災害復旧事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 災害時の現場状況確認及び査定用設計書作成等	
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 災害は、事業費の2/3%が国費 1/3が市費	
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市民の安全確保を考えて現場状況等を確認し対応	
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 水防(台風時)的天災は平常心で住民を守るなか、工法(進め方)などいちいち言ってられない。	
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<table border="1"> <tr> <td> ☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 住民の安全性がなくなる </td> <td> ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 住民の安全性がなくなる </td> </tr> </table>	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 住民の安全性がなくなる
☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 住民の安全性がなくなる	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 住民の安全性がなくなる		
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 無	
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 無	
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 無	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	最近大きな災害は起きていないが常に危機管理室と関係各課との密な協議、報告を行い緊急な災害に対し迅速に対応する体制づくりをお願いしたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					